

## 第3節 防災に関連する施設紹介

高校生の皆さんへ

**総合防災センター**を紹介します！

**総合防災センターには、**

“災害を知る、感じる、行動する”をコンセプトとした、**防災情報・体験フロア**があります。  
ここは、次の構成でできています。

- ・ **体験コーナー**（地震、風水害、消火、煙体験の4種類）
- ・ **防災シアター**（津波編、火山編、風水害編の3種類）
- ・ **各コーナー**（県の災害（出来事、対策など）コーナー、消防用具発達の歴史コーナー、防災Q & Aコーナー、防災用品コーナー、フリースペースの5コーナー）

体験コーナーでは、映像やパネルを用いて、“**地震や風水害など災害の起きるしくみ**”

“**災害から身を守る方法**”なども紹介していて、“**災害知識の習得や防災についての学習**”  
をすることができます。

- ①体験コースは90分が標準ですが、体験コースの内容や所要時間は相談に応じることが可能です。
- ②昼食がとれる場所もあります。（但し、部屋を利用する場合は団体予約のみです）
- ③大型バスや自家用車が複数台止められる無料駐車場もあります。
- ④新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための取組も実施しています。
- ⑤次ページ、またホームページでも詳しく紹介しています。  
★ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/zn2/bousaicenter/homepage.html>
- ⑥一般の見学予約は3か月前の1日からですが、学校での見学であれば、それより前に予約可能です。  
（予約専用ダイヤル：046-227-1700）
- ⑦学校でも防災学習などができるように、DVD等の貸出も行っています。（問合せ：046-227-0001）

**その他、総合防災センターは・・・**

大地震や風水害等の大規模災害発生時、「災害活動中央基地」としての役割を持っています。具体的には広い敷地（約81,000㎡）、大きな備蓄倉庫（1,700㎡）を利用して、「備蓄資機材の貸出」、「救援物資等の受入、仕分け、搬出」、「消防、自衛隊等の応援部隊の集結・待機場所」、「ヘリコプターの臨時離着陸場」等の役割を果たしています。

**敷地内には、神奈川県消防学校**もあります。

ここでは、消防組織法等に基づき、県内の消防職員及び消防団員に対し、日夜訓練が行われています。（下の写真は、消防では国内で最大規模の災害救助訓練場を利用した訓練風景）  
＜家屋倒壊等救助訓練＞ ＜浸水域対応訓練＞



## 災害を知る、感じる、行動する。

# 総合防災センター防災情報・体験フロア

私たちの周りでは、いつ、どこで、災害が起きるか分かりません。防災・減災対策の柱は、「自助」「共助」「公助」の3つ。阪神・淡路大震災では、多くの方が「自力で脱出」「友人・隣人・家族に救出された」という調査結果もあり、「自助」「共助」は災害時の被害を抑える重要な鍵になっています。リアルな体験を通して、防災を考えてみませんか？



### ガイダンスコーナー

過去の災害映像や館内の施設を紹介するガイダンス映像をご覧ください。

### 地震体験コーナー

最大震度7の擬似体験装置と2面の大型スクリーンで4種類（屋外、住宅、商業施設、学校）のCG映像を見ながら揺れを体験して安全確保行動（シェイクアウト）を学べます。



50mm/時の豪雨体験ができます。風水害から身を守る方法や日頃の備えなどを考えましょう。



大きな火災も、最初は小さな火。万が一の時に、あわてずに消火器を使えるよう、本物と同じ大きさの消火器で初期消火の体験ができます。



「煙」。煙が立ち込める迷路から避難する体験ができます。煙の特性や正しい避難方法を学べます。

ほかにも消防用具発達の歴史コーナー、防災Q & A、防災用品コーナーなど楽しく防災学習ができます。

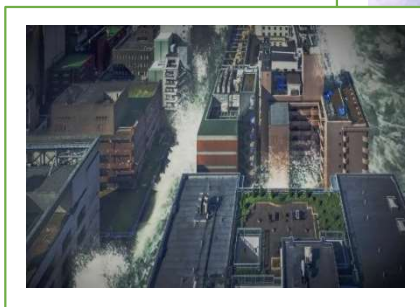


## 防災シアター

津波や火山の噴火、洪水や土砂災害などは、県民の皆さんが直面する恐れがある自然災害です。大画面で上映する県内を舞台とした仮想ストーリーで津波や火山災害、風水害の危険性やいざという時の備えについて学べます。

災害 その時を生きのびるために  
～津波・火山編～

災害 その時を生きのびるために  
～風水害編～



## フリースペース

「応急手当エリア」では、AED（自動体外式除細動器）での肺蘇生法などの体験や、「避難所体験エリア」では「避難所仕切りシステム」などが体験できます。

応急手当などを学ぶ「ミニ防災教室※」を定期的に開催します。

※日時、申込方法等はホームページでご案内しています。



【所在地】 〒243-0026 神奈川県厚木市下津古久280

【入館料】 無料

【開館時間】 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）※体験コーナー利用の場合は午後4時までに入館

【休館日】 毎週月曜日（祝日の場合は翌日火曜日休館）、祝日の翌日（土曜日または日曜日の場合は開館）

【ご利用にあたって】 事前予約が必要です。利用月の3か月前にあたる月の1日（休館日を除く）から電話で受付します。

【団体利用予約・お問合せ】 電話 046-227-1700（午前9時～午後4時30分）



ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/zn2/bousaicenter/homepage.html> でもご案内しています。

**新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底しています。**



### 【交通のご案内】

小田原厚木道路 厚木西 IC から約 1.5km  
 東名高速道路 厚木 IC から約 2.5km  
 新東名高速道路 厚木南 IC から約 1km  
 小田急線 愛甲石田駅から徒歩 30分  
 JR 相模線 門沢橋駅から徒歩 30分  
 神奈中バス 愛甲石田駅 2 番バス乗り場  
 伊勢原駅南口行き  
 または  
 平塚駅北口行き  
 長沼バス停から徒歩 5分  
 駐車場 無料  
 （一般 60 台、大型バス 12 台、福祉車両 3 台）



## 温泉地学研究所を紹介します



神奈川県  
くらし安全防災局

**沿革** History

1961(昭和36)年 神奈川県温泉研究所設立  
 1968(昭和43)年 地震観測業務を開始  
 1971(昭和46)年 箱根町湯本に移転  
 1977(昭和52)年 神奈川県温泉地学研究所と名称変更  
 1995(平成7)年 現庁舎に移転

**展示・公開** Exhibition

当所では研究内容を紹介する展示コーナーを1階に設けています。  
 また、研究成果発表会、各種講演会などを通じて当所の研究や、地震や温泉など興味深い県土の地学現象を紹介しています。

- 公開時間 9:00～16:30 (土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
- 団体での見学はあらかじめご連絡ください。
- 車での来所はなるべくご連絡ください。

# 温泉地学研究所

Hot Springs Research Institute of Kanagawa Prefecture



箱根登山線 入生田駅から



箱根登山線「入生田」駅下車 徒歩5分

**神奈川県温泉地学研究所**  
 〒250-0031 神奈川県小田原市入生田586  
 電話 0465-23-3588(代)  
 F A X 0465-23-3589

地震・火山と温泉のホームドクター

## 衝突



**世界有数の変動帯「かながわ」**

神奈川県の地下では、地球表面を構成するプレートのうちの3枚(北米プレート、フィリピン海プレート、太平洋プレート)が重なり衝突しています。県民の安全安心を脅かす地震・火山噴火、自然の恵みである温泉・地下水は、すべてこうしたプレートの運動に関わっています。温泉地学研究所は、創立以来、プレートの動きに関する様々な地学現象の解明に取り組んでいます。



背景図は、神奈川県立 生命の星・地球博物館 の衛星画像を利用しました。



**安全・安心**

箱根火山、地震、活断層などの自然災害に対する安全・安心の確保につながる調査研究を進めています。

- 火山・地震活動の観測とメカニズム解明
- プレート運動にともなう地震・地殻変動の研究
- 地殻構造・活断層の研究

温泉分布図 ●の色は温泉を示す

**温泉・地下水の保全**

貴重な自然環境資源である温泉・地下水を保護し、有効利用していくための調査研究を進めています。

- 温泉の成因解明
- 地下水流動・収支の研究
- 温泉・地下水資源のモニタリング

箱根の震源分布 (青丸) と温泉分布 (赤丸)

**世界有数の変動帯「かながわ」**

神奈川県の下では、地球表面を構成するプレートのうちの3枚(北米プレート、フィリピン海プレート、太平洋プレート)が重なり衝突しています。県民の安全安心を育む地震・火山噴火、自然の恵みである温泉・地下水は、すべてこうしたプレートの運動に関わっています。温泉地学研究所は、創立以来、プレートの動きに関係する様々な地学現象の解明に取り組んでいます。

**普及・啓発**

県立研究機関として、研究成果の普及啓発やアウトリーチなど、地域に密着した活動に取り組んでいます。

- 研究成果発表会の開催
- 研究員を講師とする講演・施設見学
- ホームページによる情報提供

温泉地学  
研究所  
役割の

**地震・火山と温泉のホームドクター**

調査・研究を通して、箱根火山、県西部地震の活動に対する防災へ貢献し、温泉・地下水の環境資源の長期的保全へ寄与します。

**自然の脅威と癒しの場への案内人**

科学的な成果を上げるとともに、地域の防災力向上に寄与します。箱根ジオパークの拠点施設として、地域の自然の素晴らしさを発信します。